

# 浸水被害軽減のための取り組み

1. 外水氾濫や内水等の水害に備えた施設等の整備

2. 迅速で確実な住民避難誘導を促す取り組み

3. 被災後の日常生活の早期回復を行う事ができる対策

# 1.外水氾濫や内水等の水害に備えた施設等の整備

浸水被害軽減のため、勢田川、桧尻川、汁谷川流域の河川整備や下水道整備等の考えられる浸水対策を検討し、施策の効果や実現性（実施可能時期）等を考慮し、短期・中長期の整備計画案を作成し、実施に向けて取り組みます。

## ハード対策（案）

### （1）河川整備

- （勢田川） 1）緊急的な堤防嵩上げ【国土交通省】  
2）河道掘削【国土交通省】
- （桧尻川） 3）桧尻川排水機場ポンプ増強【国土交通省】  
4）堤防整備【三重県】
- （汁谷川） 5）河川改修【三重県】

※勢田川排水機場ポンプ増強の検討。【国土交通省】

### （2）排水対策

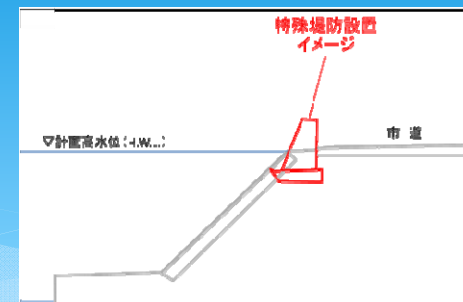
- （勢田川） 1）逆流防止フラップ弁設置【伊勢市】  
2）下水道整備【伊勢市】
- （汁谷川） 3）汁谷川排水機場の浸水対策【伊勢市】

※ 【】 は実施機関

# 1.(1)河川整備

## 1)緊急的な堤防嵩上げ（勢田川）

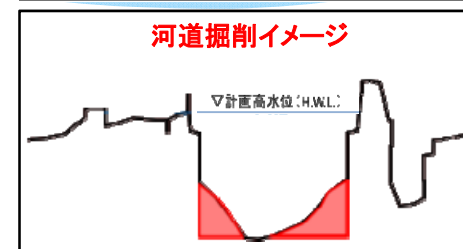
勢田川の堤防高さが不足している箇所からの溢水防止のため、緊急的に暫定構造で堤防嵩上げを実施します。



## 2)河道掘削（勢田川）

河川水位を下げるために河道断面を増やすための掘削を実施します。

勢田川の河道掘削について効果の高い箇所から実施します。



## 3) 桧尻川排水機場ポンプ増強（桧尻川）

家屋浸水被害の防止または軽減のため、桧尻川排水機場ポンプ増強について、桧尻川の整備状況に合わせて実施します。



## 4) 堤防整備（桧尻川）

河道断面が不足しているため、右岸堤防の引き堤を行い、流下能力を向上します。



## 5) 河川改修（汁谷川）

汁谷川の河川整備計画を策定し、改修実施に向けた調整を進めます。

## 1.(2) 排水対策

### 1) 逆流防止フラップ弁設置（勢田川）

緊急的な堤防嵩上げに併せ、勢田川からの逆流の可能性のある排水管等について、逆流防止フラップ弁を設置します。



### 2) 下水道整備（勢田川）

浸水対策のため、下水道整備を計画的に行います。



### 3) 汁谷川排水機場の浸水対策検討（汁谷川）

排水機場の浸水対策を行います。



## 2.迅速で確実な住民避難誘導を促す取組

水位等の防災情報は、市の避難勧告発令のための判断材料になるとともに、地域住民の洪水時の円滑かつ迅速な避難を誘導します。また、ハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域等の情報を地域住民に周知することで、地域住民自らの適切な避難判断につなげます。

これらのソフト施策を実施していくことで浸水時の被害軽減を図ります。

### ソフト対策（案）

#### （1）浸水被害軽減対策

- （勢田川） 1）危機管理型水位計の設置【伊勢市、三重県、国土交通省 平成29年度設置】  
2）勢田川浸水想定説明会の実施【伊勢市、国土交通省】  
（浸水想定区域図 平成29年作成済【国土交通省 平成29年度作成】）  
3）ハザードマップの作成【伊勢市】
- （桧尻川） 1）危機管理型水位計の設置【伊勢市】  
2）浸水想定区域図の作成及び説明会の実施【伊勢市、三重県】  
3）ハザードマップの作成【伊勢市】
- （汁谷川） 1）危機管理型水位計の設置【伊勢市、三重県】  
2）浸水想定区域図の作成及び説明会の実施【伊勢市、三重県】  
3）ハザードマップの作成【伊勢市】

※ 【】 は実施機関

## 2.(1) 浸水被害軽減対策

### 1) 水位計の設置（勢田川・桧尻川・汁谷川）

河川水位の情報を速やかに把握でき、避難準備等に活用できるように水位計を設置します。

水位計の設置位置については、伊勢市、三重県で調整します。また、今後の水位計の活用方法について検討します。

### 2) 勢田川浸水想定説明会の実施（勢田川）

浸水想定区域図の説明会を開催し、住民自らの的確な避難判断につなげます。

（浸水想定区域図 平成29年作成済）

### 3) 浸水想定区域図の作成及び説明会の実施（桧尻川、汁谷川）

出水時の水防活動や避難行動等に活用するため、浸水想定区域図を作成します。

また、浸水想定区域図の説明会を開催し、住民自らの的確な避難判断につなげます。

### 4) ハザードマップの作成

宮川及び勢田川の浸水想定区域図の作成を受け、ハザードマップの更新を行います。ハザードマップの配布またはホームページ等での公表により住民自らの的確な避難判断につなげます。



## 2.(1) 浸水被害軽減対策メニュー

|       |          | 実施河川 | 実施内容            | 実施主体                |
|-------|----------|------|-----------------|---------------------|
| ハード対策 | 河川整備     | 勢田川  | 緊急的な堤防嵩上げ       | 国土交通省               |
|       |          | 勢田川  | 河道掘削            | 国土交通省               |
|       |          | 桧尻川  | 桧尻川排水機場ポンプ増設    | 国土交通省               |
|       |          | 桧尻川  | 堤防整備            | 三重県                 |
|       |          | 汁谷川  | 河川改修            | 三重県                 |
|       | 排水対策     | 勢田川  | 逆流防止フラップ弁設置     | 伊勢市                 |
|       |          | 勢田川  | 下水道整備           | 伊勢市                 |
|       |          | 汁谷川  | 汁谷川排水機場の浸水対策    | 伊勢市                 |
|       |          |      |                 |                     |
| ソフト対策 | 浸水被害軽減対策 | 勢田川  | 危機管理型水位計設置      | 国土交通省<br>三重県<br>伊勢市 |
|       |          | 勢田川  | 浸水想定説明会の実施      | 国土交通省<br>伊勢市        |
|       |          | 勢田川  | ハザードマップ作成       | 伊勢市                 |
|       |          | 桧尻川  | 危機管理型水位計の設置     | 伊勢市                 |
|       |          | 桧尻川  | 浸水想定区域図の作成及び説明会 | 三重県<br>伊勢市          |
|       |          | 桧尻川  | ハザードマップ作成       | 伊勢市                 |
|       |          | 汁谷川  | 危機管理型水位計の設置     | 三重県<br>伊勢市          |
|       |          | 汁谷川  | 浸水想定区域図の作成及び説明会 | 伊勢市<br>三重県          |
|       |          | 汁谷川  | ハザードマップ作成       | 伊勢市                 |



### 3.被災後の日常生活の早期回復を行う事ができる対策

被災者が、一日でも早く生活再建に向けて歩みだす事ができるよう、平成29年台風第21号の伊勢市の対応を検証し、抽出された課題の改善状況を伊勢市BCMで進捗管理し着実に対応能力を向上させます。また、地域のリーダーを育成し、総合的に伊勢市の対応能力を高めます。

#### (1) 課題の抽出

- 1) 台風第21号ふりかえり【伊勢市】
- 2) 凶上訓練【伊勢市】

#### (2) 地域のリーダー育成

- 1) 伊勢市防災大学【伊勢市】
- 2) 伊勢市防災コーディネーターの活用【伊勢市】
- 3) 防災講習会の実施

#### (3) 住民、地域と一体となった対策の推進

- 1) 自助・共助・公助【伊勢市】

※ 【】 は実施機関

## 3.(1)課題の抽出

### 1)台風第21号ふりかえり(H30.1.25)

市長以下103名で、台風第21号対応の※AARを行い課題の抽出と改善担当の整理を行いました。

さらに、市長、副市長、部長級職員で、重要な課題に対してワークショップを行い、方針を確認した。

なお、ふりかえりの設計及び当日の評価は、人と防災未来センター菅野主任研究員の協力を得て実施しました。



ふりかえり



幹部ワークショップ

### 2)図上訓練

伊勢市災害対策本部の運営ルールの確認や、大規模災害対応の課題を抽出するため、訓練のねらいや、災害種別、フェーズを変え、年2回の図上訓練を継続的に実施します。訓練終了後には直ちに※AARを行い、課題を抽出します。



図上訓練

※AAR (After Action Review)

アメリカ陸軍が開発した行動後の検証プログラム（下記の手順で実施する）

①何をしようとした→②何ができたのか→③なぜそうなったか→④次回までには

## 3.(2)地域のリーダー育成

### 1)伊勢市防災大学

防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上や災害に強いまちづくりを目的として、学識経験者や、被災体験者などの講師を招き勉強会を開催します。



平成29年第2回  
立体地形モデルを作って伊勢市の災害について考える

### 2)伊勢市防災コーディネーターの活用

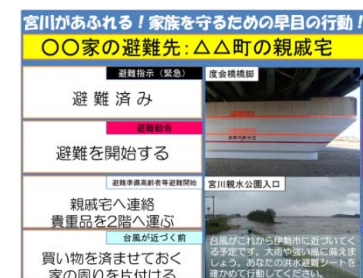
防災士の資格を有し、一定の知識と技術を有する市民等を伊勢市防災コーディネーターとして認定し、地域で実施する防災訓練、講習会の講師、又は講師のサポートを行う制度を立ち上げました。平成29年度は、活動のあり方や勉強会を開催し、平成30年度から本格的に地域へ入って、行政と住民の架け橋の役割を担って活動を実施していきます。



コーディネーターが講師を務める様子

### 3)防災講習会の実施

水防法改正に伴う新たな浸水想定区域図を正しく住民に理解していただき、避難に繋がっていただくため、ワークショップを実施していきます。



### 3.(3) 住民、地域と一体となった対策の推進

#### 1) 自助・共助・公助

今後の災害から命を守るために、台風第21号の教訓を活かして、それぞれの防災対策を推進します。

#### 自助

- ・ 防災知識の習得
- ・ 水、食糧、生活必需品の備蓄
- ・ 自主防災組織への参加
- ・ 防災講習会への参加
- ・ 防災訓練への参加

など



#### 共助

- ・ 自主防災組織活動
- ・ 災害時要援護者の避難支援
- ・ 防災資機材、物資の備蓄
- ・ 個人、組織の連携
- ・ 避難所運営マニュアル作成

など



#### 公助

- ・ 台風第21号の課題改善
- ・ 図上訓練の課題改善
- ・ 地域のリーダー育成
- ・ 防災講習会や防災情報の提供
- ・ 建物、堤防などのハード対策
- ・ 被災後の復旧、復興対策

など

